

倉敷西ライオンズクラブ第34期 会長方針

<2012年7月～2013年6月>

倉敷西ライオンズクラブ会長スローガン

『 クラブの和で奉仕の輪を広げよう 』

1. 運営方針

- (1) 国際会長のテーマにも、地区ガバナー・キーワードにも「奉仕」という言葉が出てまいりますが、ライオンズクラブの存在意義は「奉仕」にあると言っても過言ではないでしょう。我々は常に質の高い価値ある奉仕を維持するために、事業の取捨選択を行なわなければならないのです。そこで、地域あるいは時代のニーズに合った、新たな事業を掘り起こしていく努力をしていきたい。
- (2) 我々の奉仕活動に賛同してくれる新たな仲間を、ひとりでも多く増やしたい。
- (3) 会員減少に伴い会費も減少しているので、引き続き経費削減に努力し、収入に見合った運営を心がける。
- (4) 例会には少人数によるディスカッションの実施、メンバースピーチ、ライオン誌の活用などを取り入れ、例会がマンネリ化しないように工夫をしたい。
- (5) ひとり一委員会所属を原則とし、少なくとも自分の担当する委員会は、責任を持って取り組んでいただけるようにしたい。
- (6) インターネットを利用し、紙の省資源化に努めると共に、事務の合理化を推し進めていきたい。